



蛍樟新聞

けいしょう

学校教育目標
心豊かで、よく学びよく遊ぶ児童を育成する
やさしい子 考える子 強い子

実り多い2学期でした

校長 勝間光洋

師走に入り一段と寒さが増してきました。今年は冬将軍が早くから日本列島に来ているようです。元気な子どもたちのように寒さに負けず外で体を動かして、体温を上げることが必要だろうなあとしみじみ感じています。インフルエンザが流行る時期になってきました。先日、岡山県に「インフルエンザ注意報」が発令されました。外から帰ったら、うがいや手洗いを忘れず、予防に心がけてください。

さて、12月4日～10日は人権週間でした。1948年に行われた国際連合総会で「世界人権宣言」が採択されました。その日を「人権デー」として、その日までの一週間を「人権週間」と決め、各地で人権について考える取組をしています。21世紀は、「人権の世紀」と呼ばれ、相手の気持ちを考え、違いを認め合って、やさしい心を未来につなげようとしています。しかし、最近の日本国内や世界情勢を見ていると、人権が侵されているニュースが次々と飛び込んできて、とても悲しい気持ちになります。せめて、目の前にいる子どもたちはやさしい心に包まれた中で育ち、確かな目と心を養い、自分を磨いてほしいと思っています。

5日の朝礼では、「天国と地獄のちがひ」を例に、「思いやりをもって」という話をしました。自分のことばかり考えるのではなく、みんながまわりの人のことを思いやって行動することが大切であるという話です。そうすれば、みんながあたかな関係になり、学級・学校が幸せを感じる場所になるでしょう。

「世の中で一番難しいことは自分を見つめることであり、世の中で一番簡単なことは他人を批判することである。」ということを知ることがあります。自分のミスや人のせいにするのは簡単です。それに、人の短所や欠点を見つけるのも簡単です。しかし、それでは、自分も他人も成長できません。見方を変えて、友だちの短所を長所として認めてあげようとするのが大切です。（これを「リフレーミング」といいます。）学校生活の中でも各学級で友だちの良いところをたくさん見つけようとして取り組んでいます。これからも、互いに認め合い励まし合って過ごしてほしいと思います。

2学期は、たくさんの行事を通し、一人一人の成長が見られ、成果を上げた実り多い学期となりました。保護者の皆様、地域の皆様のご支援ご協力に感謝申し上げます。

☆ 6年生が善行少年表彰受賞！ ☆

昨年に続いて、6年生が「善行少年表彰」を受賞しました。暑い日も寒い日も、登校後にもくもくと落ち葉はきや校舎内清掃等を行う姿は、学校のリーダーとして頼もしい限りで、学校の誇りです。その奉仕の精神に対して、井原警察署より表彰状と楯が送られました。

朝礼で紹介し、みんなで大きな拍手を送りました。



☆ 一人一人が輝いた学芸会！ ☆



すばらしい学芸会でした。「輝く笑顔 みんなが主役 心をひとつに やりきる川面っ子」のスローガン通り、劇や合奏合唱の成功をめざして、一人一人が力を出していました。どの学年もすばらしいできばえで、見ている人たちをひきつけるものでした。最後の全校合唱「結」の歌声と姿は、歌詞と重なって、とても感動的でした。川面小学校全員の心がひとつになり、みんなを結び、体育館にいる家族や地域の方々をも結んだような気がしました。保護者の皆様、地域の皆様の応援があったからこそです。ありがとうございました。



学芸会で発表した4・5年生の合奏・合唱は、12月1日の「やかげ学校音楽の集い」でも演奏しました。文化センターのホールが美しいハーモニーに包まれました。夏休み明けから取り組んだ成果が実を結んだようでした。

第3回学校運営協議会の報告

12月1日に第3回学校運営協議会を開催しました。今回は、主に学校評価についての協議をしました。保護者の皆様からいただいたアンケートや子どもたちのアンケート、今年度の学校の取組やその成果をもとに、教職員で自己評価を行ったものを示しました。委員さんは、その項目一つ一つについて協議し、評価をしてくださいました。この評価から、来年度の方針を決めたり、取組を考えたりしていきます。無理なく、無駄なく、子どもたちがよりいっそう「やさしい子、考える子、強い子」になっていくように、学校と保護者と地域で考えていきたいと思っています。今後ともよろしくお願いいたします。

保護者の皆様には、学校アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。結果については後日お知らせいたします。

